

第10回通常総会の開催

と き 平成18年2月16日（木）

ところ ウェルシティ鳥取「梨花の間」

第10回通常総会を、正会員113名のうち96名（実出席41名、委任状55名）の参加を得て開催しました。

前田宏理事長のあいさつに続いて、平成17年度に「緑の募金」に高額の寄附をいただいた鳥取三洋電機株式会社、株式会社新日本海新聞社の2社に理事長からの感謝状を贈呈したのち、鳥取県農林水産部長河原正彦氏から祝辞をいただきました。

議長に鳥取県東部森林組合長福政貴達氏を選出し、議事録署名人に平尾達治氏、川下全功氏を選任したのち、第1号議案平成17年度事業報告及び収支決算、第2号議案平成18年度事業計画（案）及び収支予算（案）、第3号議案会費規程の一部変更について審議され、いずれも提案どおり可決承認されました。

市町村合併等に伴う今回の会費規程の変更によって正会員会費が大幅な減額となったため、平成18年度から一般会計及び緑の募金特別会計の事業を整理・組み替え等全面的に見直すこととなりました。

その結果、従来、家庭募金・学校募金・街頭募金の70パーセントを限度に募金団体に交付していました募金事業交付金は限度額を50パーセントまで引き下げざるを得ない結果となりました。

今後とも、外部有識者等の意見を聞きながら、一層効率的、かつ適正な事業の実施に努めて参りますので、皆様の温かいご理解・ご協力をお願いします。



前田理事長のあいさつ



議 事

平成18年度 緑の募金運動

● 皆様の温かいご協力をお願いします ●

募金運動期間

春期 平成18年3月25日(土)～5月31日(水)

秋期 平成18年9月1日(金)～10月31日(火)

募金の目標額 2,800万円

森林や緑は、二酸化炭素吸収源として地球温暖化の防止に役立っています。

森林や緑を守り育て、安全で住みよい循環型社会を実現するため、緑の募金運動に一人でも多くの皆様の温かいご協力をお願いします。



緑の募金街頭キャンペーン

緑の募金運動を盛り上げるため、運動初日の3月25日には、ジャスコ鳥取北店前では河原副理事長、林鳥取市副市長、本名鳥取大学農学部長、長石森っ子倶楽部会長や賀露小学校みどりの少年団など、ジャスコ日吉津店の前では石日吉津村長、後藤日吉津村議会議長、永瀬日野川の源流と流域を守る会会長、成実小学校・大山西小学校みどりの少年団などの方々の御協力により緑の募金街頭キャンペーンを行い、買い物客の皆様に緑の募金への協力を呼びかけていただきました。

そのほか、鳥取市立南中学校、智頭町立山郷小学校みどりの少年団、倉吉市立北谷小学校みどりの少年団、倉吉農業高等学校、倉吉北高等学校、米子市内のボーイスカウトなどが運動初日から4月上旬にかけて、それぞれの地域で街頭募金活動をされました。



ジャスコ鳥取北店



ジャスコ日吉津店



ジャスコ日吉津店



鳥取駅前



倉吉市内



倉吉市内

平成17年度 緑の募金結果

1 募金目標と実績

(単位：千円、%)

区 分		平成16年度		平成17年度				伸び率 B/A×100
		金 額(A)	比 率	春 期	秋 期	計 (B)	比 率	
目 標 額		28,000				28,000		100.0
募 金 実 績	街 頭	929	3.8	574	0	574	2.4	61.8
	学 校	1,670	6.7	1,657	9	1,666	6.9	99.8
	家 庭	16,765	67.8	16,013	56	16,069	66.8	95.8
	企 業	903	3.7	751	680	1,431	6.0	158.5
	職 場	3,021	12.2	2,202	209	2,411	10.0	79.8
	そ の 他	1,433	5.8	956	941	1,897	7.9	132.4
	計	24,721	100.0	22,153	1,895	24,048	100.0	97.3
達 成 率		88.3				85.9		

2 募金特別会計の収支

(単位：金額；千円)

収入の内訳	金 額	摘 要	支出の内容	金 額	摘 要
緑 の 募 金	24,048	平成17年度募金実績	事業費	1,400	森林づくり、ボランティア活動
そ の 他	6,310	平成16年度繰越金等	緑化の推進	3,846	記念植樹、地区緑化イベント
			事業交付金	10,550	募金団体への募金事業交付金
			募 金 資 材	2,218	羽根、啓発資材等購入
			募 金 活 動	3,714	広報・支部活動費等
			中 央 負 担 金	1,280	(社)国土緑化推進機構
			繰 出 金	2,400	一般会計へ繰出し
			繰 越 金	4,950	平成18年度への繰越金
計	30,358		計	30,358	

3 職場・企業・個人募金協力者名 (1万円以上)

平成17年1月1日～12月31日までの間に、1万円以上の緑の募金をいただいた民間職場・企業及び個人の方のお名前は、次のとおりでした。

温かいご協力、誠にありがとうございました。

順不同・敬称略

イ	オ	ン	(株)	え	び	す	本	郷	(株)	岡	田	電	工	(株)																				
(株)	エ	コ	ー	ビ	ジ	ネ	ス	(株)	エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東中国	(株)	サ	ン	ア	グ	リ																			
(株)	新	日	本	海	新	聞	社	(株)	タ	ナ	カ	(株)	ラ	ン	ド	サ	イ	エ	ン	ス														
グ	ッ	ド	ヒ	ル	(株)	鳥	取	県	山	林	樹	苗	協	同	組	合	鳥	取	県	木	材	協	同	組	合	連	合	会						
国	際	ソ	ロ	プ	チ	ミ	ス	ト	鳥	取	小	林	敏	克	(株)	サ	イ	ト	ウ	コ	ン	サ	ル	タ	ン	ト	(株)							
(財)	日	本	き	の	こ	セ	ン	タ	ー	(株)	山	陰	合	同	銀	行	(株)	三	協	商	会	(株)												
三										(株)	三	和	商	事	(株)	(社)	鳥	取	県	産	業	環	境	協	会									
(社)	鳥	取	県	造	園	建	設	業	協	会	住	友	生	命	保	険	相	互	会	社	鳥	取	支	店	千	代	三	洋	工	業	(株)			
千	代	電	子	シ	ス	テ	ム	(株)	第	一	生	命	保	険	相	互	会	社	鳥	取	支	社	竹	内	功	次								
智	頭	急	行	(株)	智	頭	町	森	林	組	合	中	央	印	刷	(株)	土	井	國	光														
中	国	電	力	(株)	鳥	取	営	業	所	伝	統	建	築	フ	ェ	ア	実	行	委	員	会	鳥	取	県	石	油	協	同	組	合				
東	郷	工	業	団	地	企	業	連	絡	会	ト	ス	ク	(株)	鳥	取	県	東	部	自	動	車	学	校	鳥	取	県	東	部	森	林	組	合	
鳥	取	県	中	部	森	林	組	合	鳥	取	県	東	部	自	動	車	学	校	鳥	取	白	バ	ラ	乳	販	(株)	鳥	取	日	野	森	林	組	合
鳥	取	三	洋	電	機	グ	ル	ー	プ	鳥	取	白	バ	ラ	乳	販	(株)	鳥	取	日	野	森	林	組	合	日	本	海	信	販	(株)			
日	南	町	森	林	組	合	響	き	の	森	八	頭	中	央	森	林	組	合	(有)	戸	信	商	店	米	子	信	用	金	庫					
ネ	ス	レ	ベ	ン	ディ	ン	グ	(株)	八	頭	郡	連	合	婦	人	会	米	子	ガ	ス	(株)													
八	頭	郡	連	合	婦	人	会	(有)	日	刊	建	設	工	業	新	聞	和	田	崇	靖														
和	田	崇	靖																															

募金事業交付金の対象となる家庭・学校募金等は、掲載していません。

4 募金による助成事業

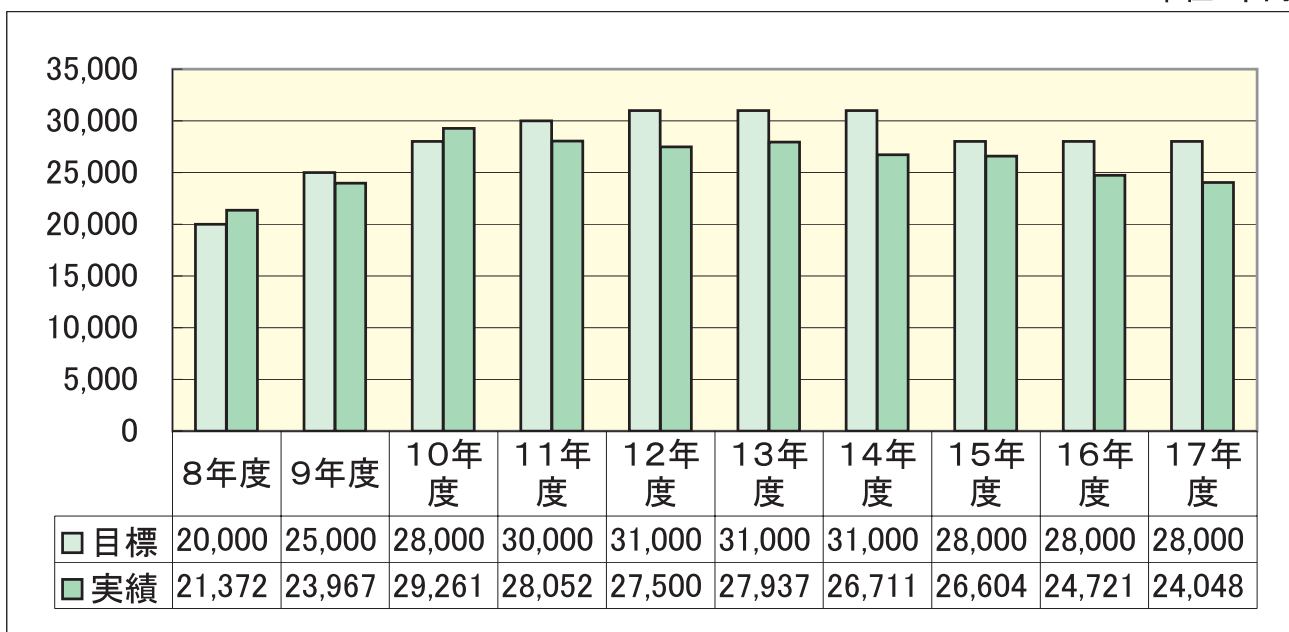
皆様の善意によって寄せられた「緑の募金」は、緑豊かな潤いのある県土を築くため、森林の整備や身近な緑化に役立てられています。

(単位：千円)

事業区分		団体数	助成額	事業内容
森林の整備	森林づくりの推進	3団体	900	団体等が行う荒地の再生を目指した広葉樹の植栽や合併記念の森の造成等
	ボランティア活動の支援	1団体	500	森林ボランティア活動を行う森っ子倶楽部の活動支援
緑化の推進	募金記念植樹	3団体	1,267	地域等が行う緑の募金を普及・啓発するための記念植樹
	市町村合併記念植樹	1団体	400	地域の住民や関係者が公共施設で行う市町村合併を記念する植樹
	地区緑化イベント	12団体	2,180	地域や団体が行う緑化に関わる各種イベントの開催や植樹等
事業交付金	地域緑化の推進	278団体	10,500	募金事業交付金(家庭募金等の7割を限度に募金団体に還元)による地域・学校・公共施設への植樹等
合 計		298団体	15,747	

過去10年間の緑の募金の推移

単位：千円



理科の学習や環境教育に役立てる取り組み

緑と水の森林基金事業（青少年・民間活動グループ育成）

鳥取県立鳥取聾学校 後 藤 正 道

本校には、多種多様な樹木が植えられていますが、生徒の知っている樹木は限られているため、興味・関心を高めることができるように校内樹木マップの作成を行っています。

本年度は、県緑化推進委員会から助成を受けて、73枚の木製樹木プレートに11月25日に生徒達に取り付けました。鳥取地方農林振興局の職員に樹木プレートの取り付け方を習いながら、みんなによく見えるよう丁寧に取り付けました。

本校には、百種類以上の樹木があり、中には準絶滅危惧種として県レッドデータブックに載っている「フユザンショウ」（ミカン科）もあります。

生徒達は、「樹の名前を知ることができて良かった。」「ムラサキシキブなど面白い名前の木があった。」「プレート取り付け作業は楽しかった。これからは木を大切にしていきたい。」と感想を述べました。

私たち教職員も木・林・森・自然を大切に、今後理科の学習や環境教育に大いに役立てたいと思います。



平成18年度の助成事業・交付金事業

事業区分	事業内容	助成対象者	助成額
緑の募金事業	森林づくりの促進	植林、下刈り等の森林の整備、森林での林業体験等	市町村、学校、各種団体等
	ボランティア活動の支援	森林ボランティア団体が森林整備活動を行うための経費の一部を助成する。	森林ボランティア団体
	地域緑化の推進	地域の緑化及び地区住民の緑化意識の高揚・緑づくりを促進するためのイベントの開催	市町村、学校、各種団体等
	みどりの少年団活動推進（緑の募金）	通常の活動に加えて実施する自然・森林・緑に関わる学習活動、野外活動、奉仕活動	みどりの少年団
	交付金事業（家庭募金等の5割を限度）	樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動等	募金実施団体
森林基金事業	青少年・民間活動グループ育成	森林・緑化に関する各種イベントやキャンペーンの実施	市町村、民間団体等
	農山村・都市の交流活動の推進	農山村住民と都市住民の交流を目的とした森づくり活動や学習会の実施	市町村、民間団体等
	みどりの少年団活動推進（森林基金）	通常の活動に加えて実施する自然・森林・緑に関わる学習活動、野外活動、奉仕活動	みどりの少年団

季節感のある治療・療養環境を目指して

緑の募金事業（募金記念植樹）

日南町国民健康保険 日南病院

日南町の高齢化率が4割を超える状況の中、町立病院である日南病院では在宅医療を柱とする「地域医療」に取り組んでいます。

昭和37年に27床で開業以来、現在地での増築を繰り返し、桜をはじめ敷地内の歴史ある多くの花木を犠牲にしながら施設を拡大してきました。気づいてみれば敷地内は病院施設と駐車場だけの味気ない環境となり、利用者にとって季節の変化を感じることもできない風景となっていました。

平成17年度の増改築事業を進めるにあたって、「季節感のある治療・療養環境の整備をやりたい」という声が病院職員の中から起こり、周辺緑化に取り組むことになりました。

緑化への取り組みの初年度にあたり「緑の募金記念植樹」事業を利用させて頂き、敷地周辺に桜、ツツジなど60本、水仙500球を植えることとし11月14日、病院・隣接の保健センター職員はもとより、施設利用者、地元生山自治会、関連業者の方など総勢43名の協力を得て植樹を行いました。寒い中で作業後に豚汁で労をねぎらい、参加頂いた利用者の方からは「来春には花見ができるかな」と楽しみにする声が聞かれました。今後も地域の方の協力をいただきながら、少しずつ季節を感じられる病院の風景を作っていきたいと考えています。



植樹活動で地域を変える

緑の募金事業（森林づくり）

鳥取市用瀬町 大村地区公民館

平成16・17年度の2カ年にわたって、緑の募金助成事業によって森林づくり活動を実施しました。全国的にも優れ、私たち住民が誇りとしている「甌穴群」の周辺を緑豊かな森にする願いをこめて住民の手で企画実施したものです。

訪れる市民が、緑の中で森林浴を楽しみながら、自然が造った驚異の「甌穴群」に触れて満喫してもらう姿を夢見ています。植樹に当たっては、実行委員会では様々な樹種を考えましたが、多数の市民が親しめる樹木を植えることを重視してソメイヨシノ桜とヤマモミジを選びました。町内の造園業者の指導を受けながら準備を進め、夏の草刈りと客土等の作業に汗を流して秋の植樹に備えました。2カ年にわたっての最終植樹を昨年11月20日に終えて植樹活動の一区切りを終えました。植えた木が大きく育ってきれいな花や青々とした豊かな緑を楽しませてくれるようになるまでは、毎年下草刈り等の管理をしていく予定です。

この植樹作業を通して、参加者の皆さんに植樹のすばらしさと、植えた樹が将来私たち市民の憩いの場となってくれる楽しみを体感され、地域の環境美化へのボランティア活動への意志の盛り上がりを感じさせられました。

原野を整地して植樹作業を終えた参加者の満足した顔が、それを物語っているように思いました。「植樹活動で地域を変える」、植えた樹木の管理作業をしながら参加者相互で次々と新しい発想が生まれてくるのを楽しみにしています。



平成19年用 国土緑化運動・育樹運動の標語募集

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般国民の緑化思想の高揚を図るため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集します。

標語の内容 簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであって、創作に限ること

応募方法 はがきに住所、氏名、職業(学校)、標語を記載して応募する。

締め切り 平成18年9月30日(土)

その他 ・入賞作品の著作権は、社団法人国土緑化推進機構に帰属する。
・国土緑化運動及び育樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて修正を加えることがある。

応募先 社団法人鳥取県緑化推進委員会

事務局だより

長石暢二さん緑化功労者農林水産大臣賞

長石暢二さん（智頭町早瀬）が平成17年度の緑化功労者・農林水産大臣賞を受賞されることになりました。

長石さんは、長伐期施業に向けて独自の間伐理論に基づく保育管理に努め、今では町内外からの視察者もあるほどの美林に仕立て上げた一方で、「森っ子倶楽部」の民間組織移行時に初代会長に就任し、諸活動に率先参加して技術指導等を通じてリーダーシップを発揮するとともに、緑の募金運動初日には緑の少年団等と一緒に街頭キャンペーンに立つなどの熱心なボランティア活動が認められての受賞となりました。表彰は、5月21日（日）に岐阜県で開催される第57回全国植樹祭の席上で行われます。



国土緑化・育樹運動ポスター原画コンクール審査結果



三原 駿一さん

鳥取県と共催で実施した「平成18年度用国土緑化・育樹運動ポスター原画コンクール」鳥取県予選については審査の結果次の皆さんが入選されました。

国土緑化推進機構主催の中央審査の結果、中学校の部で鳥取市立気高中学校2年田淵隆志さんの作品が国土緑化推進機構理事長賞を受賞されることになりました。表彰は、5月21日（日）に岐阜県で開催される第57回全国植樹祭の席上で行われます。



田淵 隆志さん

区 分	小 学 校 の 部			中 学 校 の 部		
	学 校 名	学 年	氏 名	学 校 名	学 年	氏 名
鳥取県知事賞	赤碕小学校	2	三原 駿一	気高中学校	2	田淵 隆志
鳥取県教育委員会 教育長賞	赤碕小学校	2	儀利古善誉	気高中学校	3	堀尾 政孝
鳥取県緑化推進委 員会理事長賞	赤碕小学校	2	内田 裕騎	気高中学校	3	石黒 優美

全日本学校関係緑化コンクール審査結果

平成17年度全日本学校関係緑化コンクールの「学校林等の部」で鳥取市立若葉台小学校が国土緑化推進機構理事長賞を受賞されることになりました。

若葉台小学校は、鳥取環境大学との連携による智頭町での森林・林業体験学習や隣接の鳥取市市有林での広葉樹の森整備活動など日ごろの熱心な活動が評価されての受賞となりました。表彰は、5月21日（日）に岐阜県で開催される第57回全国植樹祭の席上で行われます。